



山梨県弁護士会

全事件の取調べの可視化・取調べの立会い実現を考えるシンポジウム

映画「Winny」上映会

～あの一言が全ての始まりであった～

令和6年10月12日（土）開催

12：30分開演（12：00開場）

場所：山梨県立文学館 講堂

参加費無料（事前予約可）

Winny

監督・脚本：松本優作

東出昌大 三浦貴大

企画：古橋智史 and pictures 制作プロダクション：Libertas 配給：KDDI／ナカチカ 宣伝：ナカチカ／FINOR

©2023 映画「Winny」製作委員会

2023.3

winny-movie.com   @winny_movie

ネット史上最大の事件

小さな画面から世界を揺るがした。
なぜ日本の天才は、
日本の警察に潰されたのか。

全事件の取調べの可視化・取調べの立会いの実現を考えるシンポジウム
映画「Winny」上映会 ～あの一言が全ての始まりであった

取調べの録音・録画制度が令和元年から始まりました。しかし、法律上、録音・録画の対象となる事件は、身体拘束全事件の3～4%程度にとどまるうえ、逮捕されていない被疑者や参考人の取調べも対象外です。他方で、捜査官から、威圧的な取調べや利益誘導を用いた取調べ、黙秘権等の被疑者の権利を侵害する取調べを受けたとされる事例は、後を絶ちません。

そこで「全事件の取調べの可視化・取調べの立会い」の必要性、現状の問題点などをみなさんとともに考える機会を持つため、配給会社のご理解とご協力のもと、映画『Winny』の上映会を実施します。

映画上映後のトークセッションでは、この事件の主任弁護士 秋田真志弁護士と松本優作監督とお招きし、映画の解説・裏話を皮切りに、現行の取調べの問題点や、全事件・全過程での「取調べの可視化」の必要性についてお話しをいただきます。



©2023映画「Winny」製作委員会



✓「Winny 事件」とは

ファイル共有ソフトWinnyを開発した金子勇氏が著作権法違反の幫助罪に問われ、一審有罪、控訴審で無罪、上告審で無罪が確定した刑事事件です。取り調べの過程で作成された「申述書」などによって無罪確定まで7年もの歳月を要しました。

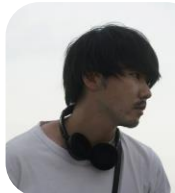


©2023映画「Winny」製作委員会

トークセッションゲスト略歴

松本優作監督

1992年生まれ、兵庫県出身。2019年に自主映画『Noise ノイズ』で長編映画デビューを果たし、多数の海外映画祭に正式招待され、海外メディアからも高く評価される。2022年『ぜんぶ、ボクのせい』で満を持して商業映画デビューを果たし、本作は多数の国内映画賞にノミネートされ、第29回キネコ国際映画祭ではCIFEJ（国際子ども映画連盟）賞を受賞する。その他、短編映画『バグマティリバー』（2022）など多数の作品を手掛ける。



日時：令和6年10月12日（土）

12時30分～16時30分

（開場：12時00分）

場所：山梨県立文学館 講堂

定員500名（事前予約可）参加費無料

※予約は右下のQRコードのフォームからお願いします。

定員に達し次第、予約を締め切りさせていただきます。ご了承ください。

※駐車場には限りがあります。公共交通機関をご利用ください。

トークセッションゲスト

松本優作監督

秋田真志弁護士（大阪弁護士会）

予約フォーム
のQRコード



秋田真志弁護士（大阪弁護士会）

数々の無罪事件を担当され、最近では、SBS（揺さぶられっ子症候群）が問題となる事件や大阪地検特捜部の違法取調べを明らかにしたプレサンス事件などでも無罪判決を獲得。日本弁護士連合会でも刑事弁護センター委員長等の要職を歴任する。

←詳しい経歴はこちら



主催：山梨県弁護士会 共催：日本弁護士連合会、関東弁護士会連合会

問い合わせ先：055-235-7202（山梨県弁護士会）

※土日（当日含む）はつながりませんのであしからずご了承ください。